

かるかる

2014年 **9** 月 vol.228

北九州国際漫画フェスタ

ニコラ・ド・クレシー展 『京都手帳 CARNETS DE KYOTO』

フランス、バンドデシネ界の旗手、ニコラ・ド・クレシーの京都滞在記を美しい複製原画でご紹介。

◇主催 アンスティチュ・フランセ九州、北九州市漫画ミュージアム



©Nicolas de Crécy et Editions du Chêne

2014・9/6(土) → 9/28(日)

北九州市漫画ミュージアム企画展示室 (あるある City5 階)

開館時間 11:00 ~ 19:00 (入館は閉館の30分前まで)
休館日 火曜日(9月23日は開館、9月24日は振替休館)
入館料 無料

文化庁メディア芸術祭 北九州特別企画 『越境するマンガとメディア』

国内外の優れたメディア芸術作品を顕彰する「文化庁メディア芸術祭」から、マンガ作品の原画展示や、アニメーション作品の上映などを開催。

◇主催 文化庁 ◇共催 北九州市漫画ミュージアム



<マンガ部門>

©LUCKY LAND COMMUNICATIONS/SHUEISHA

大賞/『ジョジョリオン』
荒木飛呂彦

北九州市漫画ミュージアム
KITAKYUSHU MANGA MUSEUM

優秀賞/『ちいさごべえ』

望月ミネタロウ/原作:山本周五郎



©望月ミネタロウ・山本周五郎/小学館

優秀賞/『昭和元祿落語心中』

雲田はるこ



©Haruko Kumota/Kodansha

優秀賞/『それでも町は廻っている』

石黒正数



©石黒正数/少年画報社

<アニメーション部門>

大賞/『はちみつ色のコン』

コン/ローラン・ポアロー



©Mosaïque Films-Artémis Productions-Panda Media-Nadasdy Film-France 3 Cinéma-2012

優秀賞/『ひきだしにテラリウム』

九井諒子



©九井諒子/イースト・プレス

問い合わせ先 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目14-5 あるある City6 階
TEL: 093-512-5077 公式HP: <http://www.ktqmm.jp>

小倉北 **北九州芸術劇場**   etc.

〒812-0001 小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6F ☎093(562)2655 公演によって異なります
 西小倉駅 徒歩3分 室町・リバーウォーク 徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	第49回 年長者の祭典	5(金)	13:00	無料	保健福祉局地域支援部高齢者支援課 093(582)2407
	第4回 全日本高等学校チームダンス選手権大会	14(日)	13:00	¥1000	一般社団法人全日本高等学校ダンス連盟事務局 080(9143)0050
	舞台「友情～秋桜のバラード～」	19(金)	13:00	PS席 ¥9800 SS席 ¥7980 S席 ¥5980	株式会社 夢グループ 03(5395)5261
			17:30	※当日SS席、S席 ¥2020増 ※PS席は前売りのみ販売	
	小林幸子コンサート	23(火)祝	14:00	PS席 ¥8000 SS席 ¥5980 S席 ¥4980	株式会社 夢グループ 03(5395)5261
17:30			※当日SS席、S席 ¥2020増 ※PS席は前売りのみ販売		
小倉南文化祭 日本舞踊合同大会	28(日)	11:00	一般 ¥4000	藤間紋龍 093(961)0050	
中劇場	北九州市民劇場9月例会 劇団 昴 「親の顔が見たい」	15(月)祝	18:30	会費	北九州市民劇場 093(541)0075
		16(火)	13:30		
		17(水)	13:30		
		18(木)	12:00		
		19(金)	13:30		
		20(土)	13:30		
		21(日)	13:30		
小劇場	ダンスダイブウィーク ショーケース 今見て欲しい旬のダンスが勢ぞろい！貴方のお気に入りの作品が見つかるはず	6(土)	14:00	一般 ¥2000 ユース ¥1000	北九州芸術劇場 093(562)2655
		7(日)		※対象：小学生以上 ※2回セット券・ぶっ通し券あり(詳細は問い合わせ先へ) ※ユースは24歳以下・要身分証提示・枚数限定・劇場のみ ※両日アフタートークあり	
	「にことねこ」CD発売コンサート 二胡とシンセサイザー	10(水)	19:00	一般 ¥2000	北九州で二胡を楽しく 050(3590)7615
	ダンスダイブウィーク Co.山田うん「ワン◆ピース2014」「十三夜」 国内外で注目を集めるCo.山田うんが、2年ぶりに北九州芸術劇場へ登場	13(土)	17:00	一般 ¥3000 ユース ¥2000	北九州芸術劇場 093(562)2655
		14(日)	17:00	※2回セット券・ぶっ通し券あり(詳細は問い合わせ先へ) ※ユースは24歳以下・要身分証提示・枚数限定・劇場のみ ※2歳以下膝上観覧無料 ※13(土)、14(日)アフタートークあり	
	北九州芸術劇場リーディングセッションvol.24 「雲間気のある死体」 病室を舞台に繰り広げられるニヤリとおかしな不条理劇。演出：山崎清介	22(月)	19:00	¥1800	北九州芸術劇場 093(562)2655
		23(火)祝	14:00	※対象：小学生以上 ※当日 ¥200増 ※23(火)祝アフタートークあり	
24(水)		14:00			
TAKAKOライブ2014	27(土)	15:00	一般 ¥3000	イナオ 090(9795)6462	
杉岡寿子ピアノ教室発表会	28(日)	14:00	無料	杉岡寿子 090(7236)1922	

■北九州芸術劇場改修工事のお知らせ

北九州芸術劇場は平成26年度中に大規模な改修工事の為、休館致します。(工事期間：平成26年12月1日から平成27年1月31日) <北九州芸術劇場 施設利用係 TEL 093(562)8436>

小倉北 **北九州芸術劇場**
市民ギャラリー 

〒812-0001 小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5F ☎093(562)2520
 開10:00～19:00 ※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
 西小倉駅 徒歩10分 西小倉駅 徒歩3分 休年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
OFFICE SEGUCHI グループ写真展 写真	3(水)～9(火)	無料	OFFICE SEGUCHI
カトリア画会絵画作品展 絵画	10(水)～16(火)	無料	カトリア画会 093(561)9582
第9回 秋琴会書作展 書道	17(水)～23(火)祝 ※10:00～18:00	無料	書道研究秋琴会 093(691)1226
第65回(平成26年度)小倉北区民美術展会員・会友展 絵画・書道・写真・彫刻・その他	25(木)～30(火)	無料	小倉北区役所コミュニティ支援課 093(582)3322

八幡東 **北九州市立響ホール** 

〒812-0001 八幡東区平野1-1-1 ☎093(662)4010 西小倉駅 徒歩15分 八幡駅 徒歩10分
 国際文化交流センター 徒歩3分 休年末年始・隔月1回(不定休) 240台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
第14回グループえび ～2台のピアノとピアノ三重奏のタベ～ 美宝理佳(ピアノ)、宮内道子(ヴァイオリン)、菊地知也(チェロ) 他	3(水)	19:00	一般 ¥2500 学生(小～大学生) ¥1500 ※対象：小学生以上 ※全席自由	華凜の会 093(473)0415
九州交響楽団 第57回北九州定期演奏会 フレディ・ケンプ(指揮とピアノ)、朝岡 聡(お話)	4(木)	19:00	一般 ¥3700 学生(小～大学生) ¥1100 会員割引 ¥3000 ※対象：小学生以上 ※全席自由	九響チケットサービス 092(823)0101

八幡東 北九州市立響ホール

所 八幡東区平野1-1-1 画 093(662)4010 泉 「八幡駅」徒歩15分 泉 「八幡駅入口第一」徒歩10分
 泉 「国際村交流センター」徒歩3分 休 年末年始・隔月1回(不定休) 画 240台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
2014響シリーズ第5弾 ステイト・ブラス アンドレ・アンリ(トランペット)、郡 恭一郎(トロンボーン) 他	6(土)	15:00	指定席 ¥3500 一般自由席 ¥3000 U-25自由席 ¥1500 (学生問わず25歳以下、要証明) ペア自由席(前売のみ) ¥5000 ※対象:小学生以上 ※当日各¥500増	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093(663)6661
北九州音楽協会会員による CONCERT 響 2014 Vol.25 “ファンタスティックな25” 北九州音楽協会会員17名	7(日)	15:30	一般 ¥2000 学生 ¥1000 ※当日各¥500増 ※全席自由	北九州音楽協会 093(871)2220【宮武】
第68回全日本学生音楽コンクール 北九州大会 予選 ピアノ 13(土)高校、14(日)小学校、15(月)中学校	13(土) 14(日) 15(月)祝	13:30 11:00 10:30	一般 ¥1500 ※対象:小学生以上 ※全席自由	毎日新聞西部本社事業部 093(511)1119【福田】
第68回全日本学生音楽コンクール 北九州大会 予選 20(土) 10:30~フルート、13:30~ 声楽、21(日)バイオリン	20(土) 21(日)	10:30 11:00	一般 ¥1500 ※対象:小学生以上 ※全席自由	
2014北九州国際音楽祭 はじめての雅楽<レクチャー> 進行:野原耕二(日本文化・音楽プロデューサー)、東京楽所奏者2名	23(火)祝	14:00	無料 ※対象:小学生以上 ※定員50名(抽選) ※要事前申込8/20必着、結果は8月下旬返信	北九州国際音楽祭 実行委員会事務局 093(663)6567
コール・フェスタ concert 2014 コール・フェスタ、賛助:北九州・下関大学合唱連盟	27(土)	17:00	一般 ¥1000 中学生以下無料 ※全席自由	コール・フェスタ 090(4488)9574【岩田】

門司 出光美術館(門司)

所 門司区東港町2-3 画 093(332)0251 画 10:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 泉 「門司港駅」徒歩8分 泉 「門司IC」約10分 休 月曜日、展示替期間、年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
祭-京都・江戸・博多 京都・江戸・そして博多の祭礼の様子を描いた絵画を紹介。	9/12(金)~11/3(月)祝	一般 ¥600 高・大学生 ¥400 ※中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093(332)0251

門司 関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)

所 門司区西海岸1-3-3 画 093(331)6700 画 9:00~17:00
 泉 「門司港駅」徒歩5分 休 年5回

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
筑前琵琶「平家物語」演奏会	7(日)	11:00 13:00	無料	関門海峡ミュージアム (海峡ドラマシップ) 093(331)6700

門司 旧大阪商船

所 門司区港町7-18 画 093(321)4151 画 9:00~17:00
 泉 「門司港駅」徒歩2分 休 なし

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
門司港レトロスペシャルジャズウィークVol6 [3VIEWS OF JAZZ] GANRYU_JIMA SAX BATTLE!!	13(土)	17:00 18:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151

門司 旧門司税関

所 門司区東港町1-24 画 093(321)6111 画 9:00~17:00
 泉 「門司港駅」徒歩3分 休 なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1・2階	門司区文化祭・門司区民美術展	4(木)~10(水)	無料 ※最終日は15:00まで	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
	マークエステル日本神話の世界展	13(土)~28(日)	一般 ¥500 小中学生 ¥100 ※前売り(大人のみ) ¥300	

門司 門司港レトロ展望室

所 門司区東港町1-32 画 093(331)3103 画 10:00~22:00(カフェは20:30まで)入館は閉館30分前まで
 泉 「門司港駅」徒歩5分 休 なし

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ(近藤タケユキデュオ)	6(土)	18:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
門司港レトロスペシャルジャズウィークVol6 [3VIEWS OF JAZZ] JAZZ not JAZZ? Project	15(月)祝	18:00 19:00	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	

門司 旧大連航路上屋 etc.

所 門司区西海岸1-3-5 画 093(322)5020 画 9:00~17:00
 泉 「門司港駅」徒歩5分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
門司港レトロスペシャルジャズウィークVol6 映画上映 「この世の外へクラブ進駐軍」 萩原聖人 オダギリジョー出演	14(日)	11:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
門司港レトロスペシャルジャズウィークVol6 [3VIEWS OF JAZZ] JAZZ de CINEMA	14(日)	14:00 15:00	無料	

小倉北 アルモニーサンク 北九州ソレイユホール (旧九州厚生年金会館)

〒小倉北区大手町12-3 ☎093(592)5405 公演によって異なります
 小倉駅 徒歩30分 西小倉駅 徒歩15分 ソレイユホール・ムーブ前 徒歩1分
 休年末年始・毎月1回(不定休) 80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北九州市民文化大学 文化講演会 講師:古美術鑑定家 中島 誠之助氏	14(日)	13:30	関係者 (随時募集)	北九州市民文化大学 093(522)5008
	平成26年度 松竹大歌舞伎 市川亀治郎改め四代目 市川猿之助 九代目 市川中車 襲名披露	18(木)	13:00 18:00	S席 ¥10000 A席 ¥7000 ※対象:小学生以上	株井筒屋 093(522)3111(代表)
	プレミアムコンサート 佐藤しのぶ ~歌は祈り~ 歌を抱きしめ あなたの街へ	20(土)	19:00	A席 ¥5000 B席 ¥4500	MIN-ON北九州 093(884)1833
	高橋真梨子コンサート2014 LOVE SONGS 紡ぎつづけて...	21(日)	17:30	全席指定 ¥8500	BEA 092(712)4221
	池辺晋一郎指揮 N響団友オーケストラ演奏-マイライフ マイミュージック- ~もう、出会いましたか?あなたの人生を彩る素敵な音楽たちに~	23(火)祝	14:00	SS席 ¥5500 S席 ¥4500 A席 ¥3500 学生 ¥2800 ※対象:小学生以上	北九州ソレイユホール 093(592)5405

小倉北 北九州市漫画ミュージアム

〒小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5F6F) ☎093(512)5077 開11:00~19:00(入館は閉館の30分前まで)
 小倉駅 徒歩2分 休火曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
文化庁メディア芸術祭 北九州特別企画 ~越境するマンガとメディア~ 文化庁メディア芸術祭の第17回受賞作品を中心に展示	ニコラ・ド・クレシー展「京都手帳」 フランスのバンド・デシネ作家ニコラ・ド・クレシーの複製原画展を開催	6(土)~28(日)	無料	北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077
	IKKI TO THE NEXT STAGE!! 北九州編 漫画の可能性を追及してきた雑誌「IKKI」の14年の軌跡を振り返るパネル展示	6(土)~28(日)	無料	

小倉北 北九州市小倉城庭園

〒小倉北区内1-2 ☎093(582)2747 開9:00~18:00(4月~10月)入館は閉館の30分前まで
 小倉駅 徒歩15分、西小倉駅 徒歩10分 休なし

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
展示室	日本玩具博物館コレクション・ままごとと道具の美 日本と海外の美しいままごとと道具を一堂に揃え、その魅力を紹介します。 障	7/2(水)~ 9/15(月)祝	9:00	一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093(582)2747
	第40回小倉城扇子・短冊書道展 舞扇や短冊にしたための書の作品を約300点展示 障	20(土)~ 28(日)	9:00	一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	
書院棟	秋のJAZZナイト ライトアップされた日本庭園を眺めながら、JAZZを楽しみませんか?	13(土)	18:00	¥1500 (呈茶付・入館料込) ※先着80名 ※要申込	
書院棟・和室	開館16周年記念市民茶会 開館16周年を記念した恒例の秋のお茶会です。	28(日)	9:00	¥1500 (薄茶二席・入館料込) ※要申込	

小倉北 北九州市立こども文化会館 (併設津市民センター)

〒小倉北区下道津4-3-2 ☎093(592)4152 開9:00~17:00
 小倉北特別支援学校 徒歩1分、「金田陸橋西」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 20台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
児童劇場	テルミンコンサート ロシアの発明家テルミン氏が発明した世界最古の電子楽器「テルミン」。独特の音色をお楽しみ下さい。	28(日)	14:00	無料	北九州市立こども文化会館 093(592)4152

小倉北 北九州市立視聴覚センター

〒小倉北区内4-1 ☎093(561)3131 開9:30~18:00
 西小倉駅 徒歩10分 勝山公園 徒歩1分、「北九州市役所」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
スタジオ	子ども映画会 「みみずくとお月さま」 ミッキー・マウス「ミッキーのハワイ旅行」ほか	14(日)	14:00	無料 (先着50名)	北九州市立視聴覚センター 093(561)3131
	週末映画会 洋画「ローマの休日」(アメリカ)	20(土)	14:00	無料 (先着50名)	
	クラシック・レコードコンサート チャイコフスキー作曲 交響曲第6番「悲愴」ほか。楽曲解説あり。	21(日)	14:00	無料 (先着50名)	
	週末映画会 邦画「あの丘越えて」	27(土)	14:00	無料 (先着50名)	

小倉北 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

〒小倉北区大手町11-4 ☎093(583)3939 開9:30~21:30 西小倉駅 徒歩15分
 ソレイユホール・ムーブ前 徒歩1分 休所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始 有料

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	池端克章コンサート 福岡県を中心に活躍するシンガーソングライター池端克章氏のコンサート	6(土)	18:30	一般 ¥3500	オフィス ラファエロ 093(967)3852
	北九州アミーラベリーダンスフェスティバル ベリーダンスの発表会、海外ダンサーのショー	7(日)	18:00	一般 ¥3000	アミーラベリーダンススタジオ 080(3957)5120[ASAMI]
	混声合唱団「コール北九州」15周年記念コンサート	20(土)	14:30	一般 ¥1000	混声合唱団「コール北九州」 093(881)8973

小倉北 北九州市立美術館分館 

〒小倉北区室町1-1-1リバーウォーク北九州5F ☎093(562)3215 開10:00~18:00(入館は閉館30分前まで)
 西小倉駅 徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 室町・リバーウォーク前 徒歩1分 休年末年始 有料

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
小倉織復元30周年 築城則子一編の今ー 小倉織の伝統を継承しつつ新たな可能性を探り続ける築城則子の個展 		9/27(土)~11/3(月)祝	一般 ¥1000 高大生 ¥600 小中生 ¥400	北九州市立美術館分館 093(562)3215
	アーティスト・トーク 講師:築城則子氏	27(土)	11:00~12:00 ※別途入館料が必要	

小倉北 北九州市立松本清張記念館 

〒小倉北区城内2-3 ☎093(582)2761 開9:30~18:00(入館は閉館の30分前まで)
 西小倉駅 徒歩5分 「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 休年末

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	開館16周年記念特別企画展 伯爵夫人ミツコ 激動のヨーロッパに咲いた華——松本清張「暗い血の旋舞」 	8/1(金)~11/3(月)祝	常設展示観覧料を含む 大人 ¥500 中高生 ¥300 小学生 ¥200	松本清張記念館 093(582)2761

小倉北 小倉井筒屋 

〒小倉北区船場町1-1 ☎093(522)3111(代) 開10:00~19:00※各最終日は16:00に閉場
 小倉駅 徒歩7分 休不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
大画廊	毛筆細字 田村敬星 展 石川県指定無形文化財 九谷焼技術保持者 田村敬星氏の井筒屋初個展です。	3(水)~9(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093(522)2521
	日本画 洋画 版画展	10(水)~16(火)	無料	
	京焼 西村徳泉・徳哉 二人展 清水焼窯元として4代目となる西村徳泉氏と、子息徳哉氏による二人展です。	17(水)~23(火)祝	無料	
	<四季の彩り> 第4回 谷口弘明 装飾画展 京友禅の技法と、京都・北山杉とのコラボレーション作品を紹介します。	24(水)~30(火)	無料	
小画廊	轟 友宏's Exhibition Happy Drive! 車をはじめとした「乗り物」を、独特のユーモアと洗練された感性で描いた作品を紹介します。	3(水)~9(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093(522)2521
	金丸悠児 カレンダー原画展 若手洋画家・金丸悠児氏の制作したカレンダーの原画を展示販売します。	10(水)~16(火)	無料	
	現代美術家 伊江隆人展 珊瑚礁の島に詩う 平和・自然・愛をテーマに創作活動を続ける伊江隆人氏の作品展です。	17(水)~23(火)祝	無料	
	第16回 芹沢幸子 絵画展 -垂直の異邦人- 画家がかつて暮らしたフランスの風景画作品を紹介します。	24(水)~30(火)	無料	

小倉北 水環境館 

〒小倉北区船場町1-2 ☎093(551)3011 開10:00~19:00
 小倉駅 徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 勝山橋 徒歩1分、「魚町」徒歩3分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	水曜コンサート「シャンソンとピアノの奏べ」 歌:酒井 京子 ピアノ:湯田 美津子	3(水)	14:00	無料	水環境館 093(551)3011
	水曜コンサート「バイオリンとピアノの奏べ」 バイオリン:加来 洋子 ピアノ:湯田 美津子	17(水)	14:00	無料	

小倉南 小倉南生涯学習センター 

〒小倉南区若園5-1-5 ☎093(931)1286 開9:00~22:00 小倉南区役所 徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分
 モーニング 北方駅 徒歩12分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
展示コーナー	第41回 小倉南区年長者・障害(児)者作品展	2(火)~6(土)	9:00~17:00	無料 ※2(火)は13:00から、6(土)は12:00まで	北九州市小倉南区社会福祉協議会 093(951)5388
	小倉南区制40周年記念 第40周年記念(平成26年度)小倉南区文化祭小倉南美術協会展 日本画(水墨画を含む)・洋画・書・写真・工芸	21(日)~28(日)	9:00~17:00	無料 ※28(日)は15:00まで	小倉南美術協会事務局 093(451)1543

若松 若松市民会館 

〒若松区本町3-13-1 ☎093(771)8131 開9:00~22:00
 若松駅 徒歩1分 大橋通り「若松駅」「若松市民会館前」徒歩2分 休年末年始 110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	わかまつ九条の会 結成10周年記念集会 講師 中村 哲 講演 アフガンの命の水	6(土)	14:00	¥1000 ※当日¥500増	わかまつ九条の会 093(771)0124【玉井】
	うたごえ交流会 合唱発表	7(日)	13:00	¥1000 (前売・当日共)	北九州うたごえ連絡会 093(603)4070
	若松区医師会 創立100周年記念 市民講演会 講師 鳥越 俊太郎 市民を対象とした講演会	20(土)	14:00	無料	北九州市若松区医師会 093(761)5367

八幡東 北九州イノベーションギャラリー (産業技術保存継承センター)

〒812-0211 八幡東区東田2-2-11 ☎093(663)5411 開9:00~19:00、土日祝日17:00まで(入館は閉館30分前まで)
 〇「スペースワールド駅」徒歩5分 〇「いのちのたび博物館」徒歩3分
 〇休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 〇大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示	企画展「山川健次郎と藤田哲也〜工学教育の先駆者と竜巻研究の開拓者」 地元ゆかりのある2人の偉人について、その知られざる遍歴や功績の数々を紹介します。 障	9/27(出)~10/19(日)		一般 ¥300 高大生 ¥100 中学生以下無料 ※対象:小学生以上	北九州イノベーションギャラリー 093(663)5411

八幡東 北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

〒812-0202 八幡東区西本町1-20-2 ☎093(661)9130 開10:00~18:00
 〇JR:「八幡駅」徒歩5分 〇休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ギャラリー	劇団FLYBY 第3回公演「ランデヴーランドリー」	14(日)	15:00	一般 ¥500 ペア(一人) ¥400	旧百三十銀行ギャラリー 093(661)9130
		15(月)祝	11:00 14:00		
	鶴亀塾 第6回フリーマーケット	28(日)	10:00~16:00	無料	

八幡東 北九州市立いのちのたび博物館 (自然史・歴史博物館)

〒812-0241 八幡東区東田2-4-1 ☎093(681)1011 開9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 〇「スペースワールド駅」徒歩5分 〇「いのちのたび博物館」徒歩1分
 〇休年末年始、6月下旬頃(約1週間) 〇大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	夏の特別展「THE モンスター展〜自然界の怪物たち〜」 約5億年前から現在までのモンスター級巨大生物が、いのちのたび博物館に勢揃い!!	7/19(出)~9/23(祝)	9:00	大人 ¥800 高大生 ¥500 小中生 ¥300 ※常設展は別途料金が必要 ※常設展とのセット券・前売券あり	いのちのたび博物館 093(681)1011
	野外観察会 ジオ・ハイキング「ジオ・ハイキング 恐竜時代の大地を知る血倉山探索」 恐竜時代に思いを馳せながら、ハイキングをして、血倉山の成り立ちを学ぶ	23(火)祝	13:30	保険代 ¥50 ※対象:小学生以上 ※要申込(小学生は保護者の参加が必要)	
	歴史講演会 ①「黒田官兵衛の城」②「西国の城館と戦国大名」 講師 ①九州歴史資料館 岡寺 良氏 ②いのちのたび博物館学芸員 中西 義昌氏	27(土)	13:30	資料代 ¥700 ※小学生以下は保護者の参加が必要 ※会場:環境ミュージアム 多目的ホール	

八幡東 北九州市立児童文化科学館

〒812-0315 八幡東区桃園3-1-5 ☎093(671)4566 開9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 〇「市立児童文化科学館前」徒歩5分 〇休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
広場別館前	第37回わくわくサイエンスキッズ2014 身近な科学やものづくりの楽しさを体験・ミニSL体験乗車もあります	14(日)	10:00~15:00	無料	児童文化科学館 093(671)4566
大集会室	サイエンスショー 「力学の法則の演示実験」	15(月)祝	14:30~15:20	無料	
プラネタリウム	星の観望の夕べ プラネタリウム観覧後、秋の星空を望遠鏡で観察します 障	27(土)	19:00~20:30	大人 ¥100 中高生 ¥70 小学生 ¥50 ※中学生以下は保護者同伴 ※先着150名、13出電話受付開始	

八幡東 八幡市民会館

〒812-0265 八幡東区尾倉2-6-5 ☎093(671)6061 開9:00~22:00
 〇「八幡駅」徒歩7分 〇「八幡駅入口第一」徒歩5分 〇休年末年始 〇110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	ティート・ロサーダ フラメンコ舞踊団 スペインから踊りも演奏もトップクラスの舞踊団が来日!	28(日)	15:00	S席 ¥5800 A席 ¥4800 B席 ¥3000	北九州労音 093(571)0227
展示室	東光会福岡支部洋画作品・公募展 油絵・水彩 約60点	22(月)~28(日)	10:00~17:00	無料	東光会福岡支部 093(951)9980【佐藤】

八幡西 北九州市立子どもの館

〒812-0313 八幡西区黒崎3-15-3コムシティ7F ☎093(642)5555 開10:00~19:00
 〇「黒崎駅」徒歩1分 〇「黒崎バスセンター」徒歩1分 〇休9/1(月)、2(火)、17(水)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
子どもホール	わらべの日 子ども救命救急教室 北九州市消防音楽隊の演奏・演技や子ども向けの救命救急教室	14(日)	13:00~15:00	無料	北九州市立子どもの館 093(642)5555

八幡西 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

〒812-0266 八幡西区木屋瀬3-16-26 ☎093(619)1149 開9:00~17:30 〇「筑前橋木駅」徒歩15分
 〇(電話)「木屋瀬駅」徒歩5分 〇「九州自動車道」(八幡)C、北九州都市高速「馬場山ランプ」約10分
 〇休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
こやのせ座	シニア青春ネットワーク 落語まつり	27(土)	14:00	¥1000	シニア青春ネットワーク 090(8669)3436
	ROP(ろっぷ)フェス	28(日)	14:00	¥500	ROPミュージック 090(6770)0123

八幡西 黒崎井筒屋

〒八幡西区黒崎1-1-1 ☎093(643)5111(代) 時間10:00~19:00※各最終日は17:00に閉場
 黒崎駅 徒歩7分 休不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
ギャラリー	工芸逸品展	2火~7日	無料	093(643)5268
	大端溪硯展 中国より直輸入した、「老坑水岩」と「坑仔岩」の二大名坑の硯を展示販売します。	9火~14日	無料	
	中村経子 / 十月工房 草木染手織紬と切継の帯と布展 草木染による着物や帯のほか、ショールなどの小物も展示販売します。	16火~21日	無料	
	有田焼陶祖 14代 李参平 作陶展 有田焼陶祖・李参平の直系子孫である金ヶ江三兵衛氏による作陶展です。	23火祝~28日	無料	

八幡西 黒崎びびしんホール (北九州市立黒崎文化ホール)

〒八幡西区岸の浦2-1-1 ☎093(621)4566 時間9:00~22:00
 黒崎駅 徒歩5分 黒崎駅 徒歩8分 熊手四ツ角 徒歩1分
 北九州市高速「黒崎IC」5分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	Gospel choir Angelic Shout! 全員集合LIVE2014	14日	18:00	一般 ¥2000 高校生以下 ¥1000 ※当日各¥500増	全員集合LIVE2014実行委員会 080(3891)8545
	平成26年 高文連北九州地区音楽会	20(土)	9:45	無料	福岡県立八幡高等学校 093(651)0035
	第15回高須中学校吹奏楽部定期演奏会	23(火)祝	14:00	無料	北九州市立高須中学校 093(741)2310
	吟詠道鶴洲流 第三回 心のしらべ“武士「もののふ」”	28日	13:00	¥1000	鶴洲流鶴洲吟詠会総本部 093(612)7813【河野】
中ホール	Delicious Four 結成10周年LIVE!!	21日	14:00	¥3000 ※当日¥500増	デリシャス フォー 090(4349)8770
	JESNAヘアーコンテスト	22(月)	12:00	無料	BAGZY 093(245)6743
	ダンスパーティー	23(火)祝	13:00	¥990	ひまわり社交ダンス 093(617)0692【香月】
	mpi 北九Pキッズ 発表会	27(土)	11:00	無料	GTSパートナー会 093(602)9075

八幡西 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

〒八幡西区黒崎3-15-3コムシティ3F ☎093(644)5206 時間9:00~19:00(入館は閉館30分前まで)※企画展により異なる
 黒崎駅 徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期間	入場料	問合せ先
展示室1	西川幸夫スケッチ淡彩「四季彩」教室 「わがまちしものせき101景」展 淡彩画	1(月)~6(土)	無料 ※6(土)は16:00まで	西川幸夫スケッチ淡彩「四季彩」教室 090(1926)6738【大川】
	八幡西区年長者作品展 洋画、日本画、彫刻、工芸、書、写真	9(火)~13(土)	無料 ※13(土)は12:00まで	八幡西区社会福祉協議会 093(642)5035【今村】
	UFO・ミステリーサークルパネル展・講演会	14日	無料 ※17:00まで	JRM福岡 080(5888)3137【宮原】
	全日本写真連盟 写楽北九支部写真展 写真	15(月)祝~21(日)	無料 ※21(日)は15:00まで	全日本写真連盟 写楽北九支部 093(761)1147【益戸】
	はじめての水墨画 水墨画	22(月)~28(日)	無料 ※28(日)は17:00まで	はじめての水墨画 093(582)5173【大田黒】
	展示室2	第16回 絵画クラブ「きらく会」作品展 洋画	8(月)~14(日)	無料 ※14(日)は16:00まで
タヴォロツェクラブ展 洋画		15(月)祝~21(日)	無料 ※21(日)は17:00まで	タヴォロツェクラブ 093(381)7036【矢野】
グループ創 絵画展 洋画		22(月)~28(日)	無料 ※28(日)は17:00まで	グループ創 093(246)1378【吉田】

戸畑 北九州市立美術館本館

〒戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 ☎093(882)7777 時間9:30~17:30(入館は閉館30分前まで)
 美術館口 徒歩10分、「七条」美術館口より無料シャトルバス運行 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 180台

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展空室	開館40周年記念 丘の上のタカラ箱 コレクション形成の過程をたどりながら、40年間を振り返る	7/19(土)~11/3(月)祝	一般 ¥600 高大生 ¥400 小中生 ¥200	北九州市立美術館本館 093(882)7777
本館講堂	開館40周年記念 連続講演会Ⅳ 講師:磯崎新氏(建築家)	20(土)	14:00~15:00 無料	
	館長講座「芸術都市をめぐる」2 ドレスデン 講師:西村勇晴氏(北九州市立美術館館長)	21(日)	14:00~15:30 無料	
	開館40周年記念 連続講演会Ⅴ 講師:高橋秀氏(美術家)	28(日)	14:00~15:00 無料	
本館下	ミュージアムコンサート 北九州小倉少年少女合唱団による合唱	7(日)	11:00~12:00 無料	

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※8月7日現在の情報です。
 ※催しは内容など変更になる場合がございます。

障害者手帳減免があります

戸畑 北九州市立美術館本館

〒戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 ☎093(882)7777 開9:30~17:30(入館は閉館30分前まで)
 ☑[美術館口]徒歩10分、[七条]美術館口より無料シャトルバス運行 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 ☑180台

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
小森室	人と海のフォトコンテスト2014 第25回 マリナーズ・アイ展 写真	8/20水~9/21(日)	無料	北九州市立美術館本館 093(882)7777
	第29回日本の海洋画展 洋画、日本画	2(火)~7(日)	無料	(一財)全日本海員福祉センター 03(3475)5391【飯田】
市民ギャラリー	白亜会九州支部展 洋画	9(火)~15(月)祝	無料	白亜会九州支部 093(581)3366【木本】
	公募第15回全国水墨研究会合同展 水墨画	17(水)~21(日)	無料	全国水墨研究会 093(871)0220【岡村】
	第19回新生起一般公募展 洋画、日本画、水彩画、水墨画、版画	23(火)祝~28(日)	無料	新生起美術協会 093(771)1313【河野】
	第5回日本風景写真協会選抜展「四季のいろ」 写真	9/30(火)~10/5(日)	無料	JNP日本風景写真協会 093(962)4048【土岐】

戸畑 戸畑市民会館(ウェルとばた内)

〒戸畑区汐井町1-6 ☎093(871)7200 開9:00~22:00
 ☑「戸畑駅」徒歩1分 ☑「戸畑駅」徒歩1分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	藤間流藤盛会北九州 藤盛会研修舞踊会	7(日)	11:30	¥2000	北九州藤盛会 093(871)4283【藤間】
	山中千尋ジャズピアノコンサート	13(土)	16:00	¥4000 ※対象:小学生以上 ※当日¥500増	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093(562)3611
	KÔGE音楽祭	21(日)	9:30	無料	高下富美子歌謡塾 093(921)4652【高下】
	北九州市立大谷中学校吹奏楽部 第11回定期演奏会	27(土)	16:30	無料	北九州市立大谷中学校吹奏楽部 093(881)5767【皿本】
	チアリーディング北九州DOLPHINS&チアダンス北九州MICKEY公演会	28(日)	14:00	¥1000	福岡文化振興協会 090(5287)8254【後藤】
中ホール	第4回東日本大震災復興支援チャリティーコンサート	7(日)	14:30	一般 ¥1000 高校生以下 ¥500	チャリティーコンサート実行委員会 090(5020)9179【松本】
	第6回 3つの音色で奏でる木村りえ・木村りさピアノコンサート	13(土)	13:30	一般 ¥2000 学生 ¥1000 ※当日各¥500増	Rie・Risa企画 090(3733)6095【木村】
	カラオケ発表会 若戸ミュージック歌の集い 楽しく聴いてください。	14(日)	9:30	無料	若戸ミュージック 093(701)2454【下川】
	リトルコンサート	15(月)祝	13:00	無料	ジュニア・アンサンブル 093(962)5320【松本】
	ヴァイオリン独奏演奏会	23(火)祝	13:30	無料	スズキ・メソッド北九州 093(952)2372【小川】
	平成26年度 戸畑区文化祭 琵琶で巡る歴史物語	27(土)	13:00	無料	ヨイトサ筑前琵琶の会 080(6445)2258【佐々木】
交流プラザ	ウェルカムコンサート 出演:藤松敦仁(ヴァイオリン) 上村貴子(キーボード) 岸本義輝(チェロ)	11(木)	12:20	無料	ウェルとばた総合案内 093(871)7200【蔵島】

戸畑 戸畑生涯学習センター

〒戸畑区中本町7-20 ☎093(882)4281 開9:00~22:00
 ☑「戸畑駅」徒歩3分 ☑「浅生市場前」徒歩1分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
市民ギャラリー	戸畑区 学童理科展 戸畑区の小学生 夏休みの理科作品展	13(土)	9:00~17:00	無料	北九州市立牧山小学校 093(881)3002【山田】
	浅生水彩画クラブ 作品展 水彩画 約40点	25(木)~30(火) 10/1(水)	10:00~17:30 10:00~15:00	無料	浅生水彩画クラブ 093(661)1767【甲山】

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※8月7日現在の情報です。
 ※催しは内容など変更になる場合がございます。

障害者手帳減免があります

CulCulの主な設置場所

市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、市内体育施設、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーションなど



2014年9月号
 表紙イメージ
 「心の中の、もうひとつの場所」

北九州市芸術文化情報誌「CulCul」・「かるかる」

発行日/2014.9.1 発行/北九州市 編集・制作/(公財)北九州市芸術文化振興財団 出版事業課
 〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1-1-7F TEL:093-662-3012 FAX:093-662-3016 北九州市印刷物登録番号 第1408001A号

情報コーナー

■林芙美子文学賞作品募集

これまで24回にわたって実施された北九州市自分史文学賞を発展・継承させ林芙美子文学賞を創設。

〈募集内容〉筆者オリジナル未発表作品。テーマおよびジャンルは不問。縦書き400字詰め原稿用紙50枚以内、日本語で書かれたもの。年齢、性別、職業、国籍などは不問。募集要項は文学館のウェブサイトからもダウンロードできます。

〈募集締切〉9月30日(火)消印有効。〈選考委員〉井上荒野、角田光代、川上未映子。〈賞〉大賞1編・賞金100万円及び『婦

人公論』に作品掲載、佳作数編・賞金各10万円。

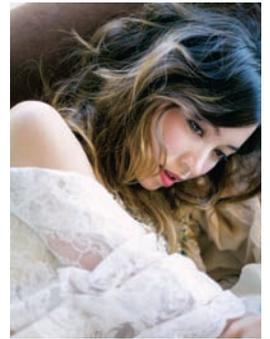
北九州市立文学館「第一回林芙美子文学賞」係
093(571)1505



林芙美子 ヨーロッパから帰国後移転した、下落合の和洋式の洋館にて(昭和7年頃)

■大人の女性のためのコンサート TOVOLI SHANTIライブ

10月25日(土)午後6時30分開場、同7時開演。黒崎ひびしんホール中ホール(八幡西区岸の



サービス(SNS)が盛んになった昨今、日本人のこの美しい感性が、乏しくなってきたのではと思う事が時にあります。「あつ、それは世間に公表してしまつてはいけないのでは」とか「それ、読んだ方が悲しい思いししないかしら」なんて心配したりして。SNSは、人々の喜び、幸せが倍增する世界であつてほしいです。

さて、音楽を勉強していると、人の感情を多面的に見るようになります。音楽は、人の心の動

浦)。今年から始まった「大人の女性のためのコンサート」の第一弾。ジャズボーカリストSHANTIが黒崎に初登場。ジャズはもちろん、ポップスやロックのカバーもナチュラルでスイング&ブルージーに表現できるのも彼女ならではの魅力。今回はオルガントリオも参加「Hammond B-3&Leslie122」つまり本物の Hammondオルガンをバックに歌います。全席自



暗黙の了解とか、言わぬが花という言葉がありますが、日本人の感受性の高さを表しています。素敵な言葉だなあと感じます。様々な組織や社会で、公にしない事を暗黙の了解として、お互いの信頼関係の上でひそやかに語られる場面があります。ソーシャル・ネットワーク・

感情をピアノに乗せて

き根ざしたものであるからです。作曲家の気持ち、その状況に思いを巡らし、理解し、それをどのように表現するのか、どのように人に伝えるのか。そして、伝える時には、必ずその曲が最高に魅力的に輝くよう、努力する。心の動きを思いやれば、言葉にしなくても雄弁に語る事ができるのが、音楽です。生徒達には、ピアノを通じて「心の機微」を感じ取れる人になってもらいたいと思っています。



■外尾悦郎 講演会

9月22日(月)午後6時開演、門司港ホテル(門司区港町)。

由。入場料、一般3500円、会員3000円、高校生以下2500円(当日各500円増)。黒崎ひびしんホール093(621)4566

■2014響シリーズ第6弾
親子で楽しむクリスマスコンサート
12月20日(土)午後2時開場、同3時開演。北九州市立響ホール(八幡東区平野)。一足先にクリスマス気分になれるファミリーコンサート。ハープ奏者の毛利沙織と、ドリームアンサンブルの魅力がたっぷり詰まった「くるみ割り人形」と、素敵なクリスマスソングをプレゼント。全席自由。入場料、おとな1000円、子ども(3歳~小学生)500円(当日各500円増)。

会員先行発売は9月18日(木)午前10時から。一般発売は同25日(木)午前10時から。

(公財)北九州市芸術文化振興財団音楽事業課
093(663)6661

「CulCul」を電子ブックでも閲覧することができます

パソコン版 (公財)北九州市芸術文化振興財団のホームページからご覧になれます ▶ [北九州文化](http://www.kicpac.org/) 検索
URL: <http://www.kicpac.org/> ※TOPページ左メニューの出版事業からCulCulを閲覧できます

スマートフォン・タブレット版 無料の電子ブック閲覧アプリ「ActiBook」でご覧になれます
①「App Store」または「Playストア」からアプリをインストール
②「ActiBook」アプリを立ち上げて「検索」メニューから「culcul」で検索

「かるかる」をPDFでも閲覧することができます

ホームページからご覧になれます ▶ [かるかる](http://www.kicpac.org/culcul/index.html) 検索
URL: <http://www.kicpac.org/culcul/index.html>

二次元コードからでもご覧になれます。



門司港美術工芸研究所の特別講師であり、スペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリア聖堂にて主任彫刻家を務める外尾悦郎氏の講演会。対象は高校・大学等に在籍している学生。定員は100名。参加費、無料。電話にて要申込。
門司港美術工芸研究所
093(322)1235

埋蔵文化財

hiroba

遺跡からのメッセージ

(公財)北九州市芸術文化振興財団
埋蔵文化財調査室 調査係長

佐藤 浩司 Kouji Satou

多様な出土品 —読み解く歴史—

遺跡の発掘調査では、あらかじめ出土するものが予想される場合と、掘ってみなければ何が出るかわからない場合とがあります。

現在リバーウォークがある付近は、それが出来る前は小倉北区役所でしたが、江戸時代は小倉城下町の一部でした。しかも小倉城天守閣のすぐ近くで、L字型に曲がったお堀の裏なので、堀に沿う道が広い武家屋敷の一部に当たるわけです(写真1)。皆さんも小倉城下町を描いたこの様な絵図を一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。

そんな場所を発掘すれば、十中八九、江戸時代の茶碗か瓦が

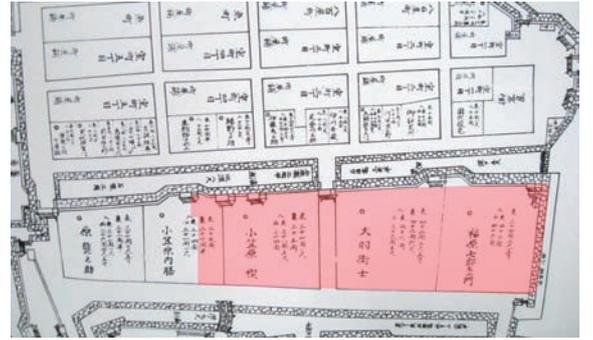


写真1 江戸時代の絵図とリバーウォークの位置(桃色部分)

出てきます。しかもこれらは大量に土中に埋まっている場合が多く、ここには江戸時代の人々が使った生活用品が眠っているのだ、と想像できます。すると他にも色々な材質で出来た道具なども出てくるのではないかと予測が立ちます。ガラス製の瓶や簀、鉄製の刀や包丁、銅製の手鏡やキセルやお金、石製の臼や硯、木製の桶や箱など、腐らないものを中心に続々出てきます。

しかし、その中に見慣れない、壁土のような破片や鉄が溶けて冷え固まったようなごつごつした物体が大量に見つかったのです。これはなんだろう？生活用品とは思えないし、なにかをこのあたりで作っていたのかな？ という疑問が湧いてきます。よく調べてみたら、それは大きな溶解炉の一部や、鉄や銅が溶けて流れ出たカス(スラッグ)だったのです。

他にも溶解炉に風を送るフイゴの羽口、溶けた金属を入れる鍋やスコップの鋳型なども見つかったため、その場所がかつて銅製品や鉄製品を作るための工場があったということが判明したのです(写真2)。

まさか、武家屋敷の一角でこんな作業をしていたら、それこそ公害で大変なことになります

よね。すると、これらは小倉城下町が作られる以前のものかもしれない、という推測ができるわけです。厳密に遺跡の土層堆積の様子を調べると、江戸時代の土層の下に中世の土層が存在することがわかりました。そして、文献にも記載された小倉鋳物師の生産拠点の一部がこのリバーウォーク周辺にあったという発見につながったのです。これはまさに予測していなかった事実でした。実際には溶解炉を設置した基礎部分、炉壁を積み上げた井戸、鋳型を再利用した掘区画なども見つかり、北九州人が誇る「ものづくり職人」の活動の様子が生き生きとよみがえる思いでした。

驚きはこれだけでは終わりませんでした。そのさらに下層からは、砂丘上に営まれた弥生時代前期の甕棺や箱式石棺などのお墓が発掘されたのです。二千三百年も前のお墓からは、当時の権力者しか持ち得ない銅剣や美しい玉類が副葬されていました。

この地には、私たちの想像をはるかに超える悠久な歴史が秘められていたのです。



写真2 リバーウォークの地下で見つかった鋳造関連の遺物(手前:ルツボや炉壁 奥:鍋とスコップの鋳型)

(埋蔵文化財の展示案内)

- 北九州市立埋蔵文化財センター(小倉北区金田1の1の3 093(582)0941)
北九州市を掘る(78) 埋蔵文化財速報展『竪穴住居のくらしー上徳力遺跡第26地点の調査ー』古墳時代の竪穴住居の台所から出土した土師器や須恵器60点を展示 常設展もあり。
【開催期間】8月26日(火)~12月21日(日)
【開館時間】午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)※毎週月曜日(休日の場合はその翌日)休館
【入館料】無料
- 黒崎歴史ふれあい館(八幡西区黒崎3の15の3黒崎駅横コムシティ1F)
常設展開催中
常設展『城下町から宿場町へー出土品が語る黒崎の歴史と文化ー』、『シガールード・発掘物語』
【開館時間】午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)※年中無休
【入館料】無料



『Carnets de Kyoto』より
©Nicolas de Crécy et Editions du Chêne

もう1部では、バンド・デシネの世界で高い評価を得ている作家の一人・ニコラ・ド・クレシーの、『Carnets de Kyoto (京都手帳)』から作品を紹介いたします。バンド・デシネは主にフランス語圏の漫画で、オールカラーで描かれる作品が多いのが特徴です。クレシーは1966年、フランスのリヨンに生まれ、アングレームの美術学校を卒業。91年『フォリガット』で本格的にBD作家としてデ

漫画 hiroba

漫画と北九州
北九州市漫画ミュージアム 学芸員
柴田 沙良 Sara Shibata

越境する漫画とメディアの現在形 北九州国際漫画フェスタ

北九州市漫画ミュージアムでは、「北九州国際漫画フェスタ」と題して、国際的な広がりを見せる漫画やアニメーションの世界を広く紹介する展示を行います。①国内だけでなく海外にも広がりを見せる第17回文化庁メディア芸術祭受賞作品の巡回展示。②フランス人作家・ニコラ・ド・クレシーの複製原画展示。③漫画雑誌「IKKI」の紹介の3部構成です。

最初の1部では、漫画表現の可能性を追求してきた漫画雑誌「IKKI」14年の軌跡をたどりま

す。ここでは、残念ながらこの9月で休刊となる雑誌が行ってきた、ユニークな試みを展示やイベントで振り返ります。

ビューします。これまでに発表された作品は『氷河期』『天空のピバンドム』、『サルヴァートル』『レオン・ラカム』などで、日本でも刊行されています。彼は2008年、京都市山科区にある「ヴァイラ九条山」に招聘アーティストとして滞在し、日本の滞在記を『京都手帳』として表しました。日本の風景の中に、鬼が現れたり、妖怪のような存在が描き込まれたりなど、面白いイメージがちりばめられています。フェスタでこのフランス人作家の素晴らしい世界に触れて頂ければと思います。日本にもバンド・デシネに魅入られた



「IKKI」2014年9月号 (小学館)

Information

北九州国際漫画フェスタ

【開催期間】

2014年9月6日(土)～9月28日(日)

【会場】

北九州市漫画ミュージアム企画展示室
(あるあるCity 5階)

【開館時間】

午前11時～午後7時(入館は午後6時30分まで)

【休館日】

火曜日(9月23日は開館、9月24日は振替休館)

【入館料】

企画展については無料です
(6階常設展示には別途入館料が必要)



国立新美術館 (東京都) での第17回受賞作品展の様子 (2014年)

ダイナミックな動きを感じ取って頂ければと思います。
※ 礼を尽くし、人を招く事

美術 hiroba

北九州アートめぐり

キュレーター
花田 伸一 Shinichi Hanada



自然とアートと藝術と

黄金の稲穂が風にたなびく里山の風景を見て「ああ、芸術的だ」と感動する人は少なくないでしょう。9月は稲刈りの季節。収穫の時期を控え、今月は自然とアートの関係について考えてみましょう。

先に西洋における考え方から。皆さんはアートの対義語を知っていますか？日本人でしたら普段アートの対義語など考えた事もないと思います。実は西洋でアートの対義語にあたる



のは「ネイチャー」、つまり

「自然」です。ここでいうアートとは「芸術」という意味である前に、「人間が自然に手を加えたもの」「人間によって生み出されたモノ・コト」「人間による技」という意味で用いられています。そしてネイチャーとは空、海、山などを思い浮かべるよりも前に、「神さまによって創造されたもの」という意味で用いられています。いうまでもなくこれはキリスト教の世界観に基づいています。「神が創造したもの」であるネイチャーに対して、「人間が生み出したもの」であるアートと対比して考えると、世界観がその背後にあるわけです。

さて東洋ではどうでしょう。アートの訳語として用いられる日本語は「芸術」です。今では「芸術」と書くこの語には、もともと「藝術」という漢字が用いられていました。この「藝」という漢字は「植物に手を添えて土に植える」様子から生まれ

た字です。つまり人間が自然に対して何らかの働きかけを行う様子から字が生まれたわけです。ここでは人間と自然とが対比されるといっても、人間が自然の力に寄り添いながら何らかの生産的な営みを行っています。

ちなみに「芸」は訓読みを「くさぎる」と読み、「草を刈る」という意味があります。これでは植物を植えるという意味

の「藝」とは反対の意味になってしまうので、美術関係の団体の中では今でも「芸」ではなく「藝」の字を用いるところが少なくありません。

「アート」と「藝術」。これらの語の成り立ちを「自然」を紹介しつつ改めて振り返ってみると、私たちの住む日本の大地の風土から立ち上がってくる新たな「藝術」観が生まれてくるのではないのでしょうか。



Information

北九州市立松本清張記念館
北九州市小倉北区城内2番3号
093(582)2761
【常設展観覧料】
一般 500円 中高生 300円
小学生 200円
【開館時間】
午前9時30分～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

文芸 hiroba

清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 学芸担当主任
中川里志 Satoshi Nakagawa

二つの「玉碗記」

——松本清張と井上靖(1)

「玉碗」とは、古代のガラス碗である。「瑠璃碗」ともいう。「玉」とは本来、古代中国で最高位の印材とあがめられたヒスイ等の貴石のことであるが、貴重な瑠璃(ガラス)もそれにとえられた。正倉院蔵の白瑠璃碗と、伝安閑天皇陵出土の玉碗は有名である。清張も瑠璃碗をいくつか所蔵していて、その一つが正倉院の白瑠璃碗とよく似ていた。所蔵のガラス碗を題材に松本清張が三篇もエッセイを書いている事は、あまり知られていないであろう。

『瑠璃碗記』(1966年7月、「太陽」)
『クレオソートと玉碗』(77年1月6日、「週刊文春」)
『わたしの玉碗記』(77年12月、「The ガラス」)

65年4月29日、前日に食べたギリシヤ料理が合わなかったのか、下痢に苦しめられたテヘランでのことである。日本代理大使に連れて行かれた骨董屋、アシババで、へ石のようだが、紛うことなき写真で見る正倉院蔵の白瑠璃碗と同じ「カットガラス」を、大使と競り合うようにして百ドルで買ったとその様子を

描いている。その上で、正倉院蔵の白瑠璃碗と伝安閑天皇陵出土の玉碗は(ベルシヤ・ササン朝のころにつくられ、パミールの高嶺を越え、流沙を横切って長安にもたらされ、さらにそれがはるばる日本に来た)などと、東西文化交流への関心と考察を加えている。

同じテーマの作品を3篇も書き残したのはその関心の強さを物語っている。事実、その興味の高さは長く継続し、清張はこの後生涯をかけて『火の路』『眩人』『正倉院への道』など「東西文化交流」の探究を続けることになるわけだが、清張にとって「瑠璃碗」はその象徴であり原点でもあった。

ところで、最後のエッセイのタイトルには、『わたしの』という限定が付いている。ということは、ほかの人の「玉碗記」が存在していて、その作品を意識しつつそれは違う『わたしの』『玉碗記』を書くのだという意味が込められているように読める。実際、別作家の「玉碗記」が存在するのである。井上靖著『玉碗記』——51年8月、「文藝春秋」に掲載された小説である。ペルシヤから中国、朝鮮を経て日本に来たと思われる、正倉院の白瑠璃碗と伝安閑天皇陵出土の玉碗が、千余年の歲月を中には喜んで現代に再会する、その

瞬間に主人公は冷たい薄紅い輝きと溢れる水の音を聞く、そんな詩的な小説である。

ちなみに井上靖は同じ頃、西域から日本に伝わった文物を取り上げた『漆胡樽』(50年4月、「新潮」)や、在唐30年の後に帰国した遣唐留学僧、行賀が、己の心を充たした(空漠とした感慨)に涙するという『僧行賀の涙』(54年3月、「中央公論」)など、西域ものの初期作品を発表していた。

実はすでに、清張の『瑠璃碗記』の中に、(院蔵の白瑠璃碗については、これをモチーフとして井上靖氏に「玉碗記」という初期の佳作がある)という一文があり、早い時期から井上の『玉碗記』を読み知っていたことが分かる。清張は戦前から敬



『わたしの玉碗記』(1977年12月、読売新聞社「The ガラス」)

愛する菊池寛創刊の『文藝春秋』を読んでいたので、井上の『玉碗記』を発表と同時に読んだ可能性はかなり高いと思われる。さらにはいえば、戦前から考古学に興味をもっていた清張は、この井上の『玉碗記』や『漆胡樽』を読んで、考古学遺物としての古代カットガラスを通して「西域」伝来の文物、そして「西域」と中国・日本など東アジアとの間の歴史的交流そのものへと、興味と探究の目を向けていったのかもしれない。

また井上の『僧行賀の涙』も読んでいたかもしれない。主人公は遣唐留学僧で、その仲間に(西域を経て天竺に行く計画)を立て、同行・案内をする胡人を胡商の町で狂ったように探し回る僧がいる。これは、想像をたくましくすれば、のちに清張が書く遣唐留学僧、玄昉の物語『眩人』にまで繋がっていると思われる。

このように見てくると、片や小説で、片やエッセイと形式は違い、内容も異なるが、清張の記憶の片隅には井上の『玉碗記』が消えずにあって、ふと思いついて、『わたしの玉碗記』を書いたといえそうである。

※1 古市高屋五郎

※2 『クレオソートと玉碗』77年1月6日、「週刊文春」

※3 砂漠の事。特に、中国西北の砂漠を指す。

※4 『瑠璃碗記』66年7月、「太陽」。

演劇 hiroba

演劇の街は、いま
大塚恵美子演劇事務所 代表
おおつか えみこ Emiko Otsuka



「北九州市立大学演劇研究会」『藍色の森』チラシ

「持続可能な演劇環境」

恥ずかしながら告白すると、ESDという言葉をごく最近知った。ESDとは、「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development)の略称だ。

現在主導機関となっているユネスコ(国際連合教育科学文化機関)によるとESDとは、環境、貧困、人権、平和、開発といった幅広い社会問題に関して、「さまざまな課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと。そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のこと」なのだそう

実は、我々とESDの関わりは深い。日本は、2002年「持続可能な開発に関する世界首脳会議」で「国連持続可能な開発のための教育の10年」を提案。同年の国連総会で2005年から2014年までの10年間を「ESDの10年」とすること

が採択された。それを受けて、全国でさまざまな取り組みが行われてきた。

北九州市小倉北区の魚町銀天街内にある「まなびとESDステーション」まちなかESDセンター」で展開されている『北九州まなびとキャンパス』もそういった取り組みのひとつだ。かつてゲームセンターだった地下の空き店舗を改装した、真っ白な、お洒落な空間。北九州市内の10の大学が共同して、大学生が街の人々とながら「持続可能な発展」を考え、実現するための活動を考え、学ぶ事ができる施設となっている。

縁あって、私の劇団「大猫座」が、昨年度の「北九州演劇フェスティバル」参加のリーディング公演会場としてこの場所を使用させていただいた。演劇公演会場として使用するのには「大猫座」が初めてだったのだが、小劇場とも、カフェなどの飲食店とも違う雰囲気を持った空間で、実に面白かった。

そして、今年7月、再び演劇

公演が行われた。「北九州市立大学演劇研究会」の夏公演『藍色の森』(作・前田芽衣子/演出・野田春香/7月19日・20日)だ。学内よりもずっと地域に近い場所での公演は、大学生にとっても意味のある事だと思ふ。また、工夫次第でさまざまに表情を変える空間だけに、今後、演劇公演に適した場所として認知されれば、面白い事になるのではないかな。今後の動きに注目したい。

「ESD」に含まれる「持続可能な」という単語は、きつと演劇、特に地方の演劇界にとっても重要な要素だ。ここ数年、北九州市では、本当に久しぶりに新しい劇団が多く誕生し、若い演劇人が活発に活動を行っている。7月には、また新たな劇団が誕生した。劇団「空中列車」だ。旗揚げ公演『夢かと思つた』(カフェ「angel」/7月26日・27日)を引っ提げて登場した彼らは、北九州演劇フェスティバルで上演された『モノレール公演「DANCE/燈」』に出演したメンバーだといふ。

そんな若い劇団を見ながら、いつも思う事は、「北九州市でずっと演劇活動を続けていってほしい」という事だ。一過性のお祭り騒ぎのイベントではなく、この街で作品を発表する事を楽



「まなびとESDステーション」でのリーディング公演の様子(大猫座)



しんで、意味を、意義を見つけて、長く続けていってほしいと思ふのだ。
もちろん、「持続可能な演劇環境」の基盤を整える努力もなくてはならないだろう。そして、それは、私達、先輩演劇人の役目なのかもしれない。

北九州芸術劇場プロデュース

「《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会」

宣伝営業課 一田真澄 Masumi Ichita

Event

◎フラッシュモブ「アリスモブ」 ※観覧無料

【日程】9月13日(土)午後、時間未定

【会場】リバーウォーク北九州ほか

北九州芸術劇場では10月4日(土)、劇場の自主企画・製作公演「《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会」を上演します。2013年に北九州芸術劇場リーディングセッションの21作目として小劇場で上演された作品を大幅に改訂。子どもから大人まで楽しめる、よりエンターテイメントな作品として今回中劇場にて上演します。

アリスの森を舞台に
ダンス×音楽のお芝居が登場



©トミタユキコ 近藤写真 ©HARU

「北九州芸術劇場プロデュース」と銘打ったこの公演は、演出家が北九州に滞在し地元の仕事者陣、そしてスタッフと共に作品を創作。創られた作品は東京でも上演し、ものづくりの街・北九州の名を演劇の分野からも全国へ発信していきます。

《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会は、不条理劇あるいはナンセンス喜劇で知られる別役実が、故岸田今日子からの誘いで「演劇集団 円」子どもステージ」の為に書き下ろした戯曲で、1984年の作品です。別役実の童話あそびシリーズ」のひとつであるこの作品は、お馴染みルイス・キャロル作の『不思議の国のアリス』をモチーフに戯曲化。原作のお茶会の場面に登場する三月兔、帽子屋、眠りねずみ、アリスのほか、チシャ猫や公爵夫人といった面々が登場し、原作とは別の物語を展開します。『不思議の国のアリス』はしばしば、言葉の意味よりも語呂やしやれに重点を置いたナンセンス文学と言われますが、これはそのまま、別役の描くナンセンス喜劇に通じるものでもありません。台詞から意味を切り離れた詩的で鮮やかな言葉遊びを用いながら、個性豊かなキャラクター達による軽快なやり取りを繰り広げていきます。

言葉遊びの面白さを
ダンスで更にダイナミックに

演出は、ニューヨーク・タイムズ紙でも絶賛された学ラン姿で踊るダンスカンパニー・コンドルズ主宰の近藤良平。NHK連続テレビ小説「てっぺん」のオープニング振演出演や、13年東京国体の式典演技総演出などを手掛けたことでも知られます。カンパニー公演においても、卓越したダンスパフォーマンスや体の動きで笑いを誘うコントなど、遊び心に満ちた舞台を展開している近藤が、前回初の演劇作品として手掛けた事でも注目された本作。別役戯曲の中に潜む「喜劇性」を独自のコミカルな振付によって表現し、視覚的にも楽しませてくれます。また九州を代表する役者陣に加え、ダンサーとして、近藤



リーディングセッション vol.21 より ©木寺一路

Information

【公演日程】10月4日(土)午後2時開演 【会場】北九州芸術劇場中劇場
【作】別役実 【演出・美術・出演】近藤良平(コンドルズ) 【演奏】吉田トオル(ストライク)
【出演】若本将治、小笠原萌(だーのだんす)、片山敦郎(富む平原)、古賀今日子(che carino!/che carina!)、佐々恭子、椎木樹人(万能グローブ ガラパゴスダイナモス)、高野桂子(village80%)、高野由紀子(演劇関係いすと校舎)、立石義江、谷岡紗智(ぐにやり)、寺田剛史(飛ぶ劇場)、中嶋さと(14+)、野中香織、響金太郎、福田雅人、美輝明希、美和哲三(14+)、村上差斗志(14+)、百田彩乃(だーのだんす)、脇内圭介(飛ぶ劇場)

チケット好評発売中

【料金】一般3,000円、中～大学生2,000円(要学生証提示)、小学生1,000円
高校生(的)チケット1,500円(高校生限定・枚数限定・劇場窓口・前売のみ取扱)
※全席指定・当日500円増 ※未就学児入場不可

【お問合せ】北九州芸術劇場 093(562)2655

自身も出演。コンドルズのバンドチーム・ストライクの吉田トオルが手掛ける生演奏の音楽ともセッションしながら、不思議な森のお茶会へと誘います。公演に先立ち9月13日(土)には、出演者が街に飛び出してパフォーマンスを行うサプライズイベントも予定されていますので、こちらも併せてお楽しみください。

※1 意味をなさない。無意味であること。
※2 「子どもと大人が一緒に楽しめる舞台」として岸田今日子が企画。これまでに詩人・谷川俊太郎なども参加。

かるかる Culcul

Culture&Cultivate

2014
September

9

Vol.17

心の中の、もうひとつの場所。

特集

北九州芸術劇場

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | 清張アラカルト

美術 | 北九州アートめぐり

漫画 | 漫画と北九州

埋蔵文化財 | 遺跡からのメッセージ

音楽 | いろはにびあの